

【2025年4月・5月】ポプラ社一般書単行本刊行予定

※配本日・タイトル・予価等は変更の可能性があります。あらかじめ御了承ください。

4月

ジャンル	配本日	ISBN	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	5月28日	186415	ぼくは刑事です	小野寺史宣	1,800	四六判並製	280	千葉県生まれ。2006年「裏へ走り込め」でオール讀物新人賞、08年「ROCKER」でポプラ社小説大賞優秀賞を受賞。『ひと』が2019年本屋大賞第2位に輝き、累計42万部のベストセラーに。同書は第3回宮崎本大賞も受賞した。他の著書に『ホケツ!』『家族のシナリオ』『まち』（以上祥伝社文庫）『うたう』（小社刊）、『モノ』『日比野豆腐店』など多数。	松川律は三十一歳の刑事で、シングルマザーの竹本澄音とつきあっている。澄音の五歳の娘・海音との距離も縮まり結婚を真剣に考えたところで、澄音から自分の父親には前料があると告げられて……。ラーメン店を経営する姉一家との交流や同期刑事とのやりとりなどを小気味よく織り交ぜながら、若き刑事の二年の月日を描く。スカイツリーの見える東京・下町で繰り広げられる心温まる人生の物語。
写真	5月19日	185575	ポケットにカメラを入れて	幡野広志	1,600	四六判並製	256	1983年、東京生まれ。写真家。2004年、日本写真芸術専門学校を中退。2010年から広告写真家に師事。2011年、独立し結婚。ワークショップ「いい写真は誰でも撮れる」ラジオ「写真家のひとりごと」(stand.1m)など、写真のハードルを下げる活動も実施している。著書に『ぼくが子どものころ、ほしかった観になる。』(PHP研究所)『なんで僕に聞くんたろう。』『だいたい人間関係で悩まされる。』(以上、幻冬舎)『ぼくたちが選べなかったことを、選びなおすために。』『息子が生まれた日から、雨の日が好きになった。』(以上、ポプラ社)など。	ほとんどの人に写真の才能がある。でも、多くの人が写真を誤解している——即売売の大人気ワークショップをベースに幡野広志が書き下ろす。できれば触れたいなかった「写真の魅」。『いい写真』と「うまい写真」はちがう。「ためな写真」と「人だな写真」も同じ意味じゃない。うまくてくだいな写真もあるし、ヘタだけどいい写真もある。『いい写真』を知り、「いい写真」を撮ろう。写真の価値観が変わる、写真初心者必読の1冊。
実用料理	5月28日	186439	昼12時のお弁当研究所	小田真規子・著 スクラッコ・絵	1,500	四六判並製	192	料理研究家、栄養士。スタジオナッツ主宰。女子栄養大学短期大学部卒業後、香川調理製菓専門学校で製菓を学ぶ。「料理をすることも好きだが、より「考えること」が好きで、度重なる試作・研究の末に、食材や調理の管理原則を独自に導き出して概念化し続けてきた。そのため、「作ると料理がうまくなるレシピ」と定評がある。それがきっかけとなり制作した著書『料理のさほん練音帳』（高橋書店）は、シリーズ60万部に迫り、料理レシピ本大賞 in Japan 2014入賞もはたすロングセラーに。中学校技術・家庭科教科書の料理監修や、食品メーカーへのレシピ提供なども行う。『一日がしあわせになる朝ごはん』（文芸社）は料理レシピ本大賞 in Japan 2016年大賞を受賞 スクラッコ 著者プロフィール	シリーズ12万部突破！人気料理本シリーズ第3弾。「弁当は料理にあらず面白い」をテーマに、自分でつめてもふたをあけたらうれしくなるお弁当が作れる。「肉はひき肉しか使わない」「おにぎり2個から始めよう」「ワインナー1本ですき間を埋める」など、はじめての方から、義務感でマンネリ化している方まで、お弁当が楽しく、確実においしく作れるようになる研究結果が満載です。

4月

ジャンル	配本日	ISBN	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	4月21日	186477	あんずとぞんび	坂城良樹	1,700	四六判並製	240	2023年第12回ポプラ社小説新人賞奨励賞を受賞。本作がデビュー作。	神様に見捨てられた私を助けてくれたのは、同じアパートに住むゾンビのおじさんだった。 川をはさんだ向かいの町に、母と引っ越してきた小学生のあんず。いじめられていたあんずを助けてくれたのは、同じアパートに住むぞんびのおじさんだった。孤独を受け止められないあんずと、孤独とともに生きるぞんびのおじさん。お互いの存在が、それぞれの人生へのかすかな光となる。